

# CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学  
学報

JANUARY  
2018  
No. 110

CAMPUS PRESS

長崎総合科学大学学報 No.110 2018年(平成30年)1月  
編集・発行 長崎総合科学大学 総務企画課 〒851-0193 長崎県長崎市網場町536 TEL.095-838-5131 <http://nias.jp/>

## contents

CERNの実験に  
参加してきました

NiAS TIMES

話題人

マネジメント工学コース4年  
木場 愛明さん

8Courses Topics

公開講演会

産官学連携

附属高等学校ニュース

Information

きわめる。拓く。創り出す。

**NiAS** 長崎総合科学大学  
Nagasaki Institute of Applied Science

## 2018(平成30)年度 入試のご案内

### ■大学入試案内

項目	一般入試			センター試験利用入試			AO入試 AO特待生入試
	I期	II期	III期	I期	II期	III期	
出願期間	1/9(火) 1/31(水) <b>必着</b>	2/16(金) 3/8(木) <b>必着</b>	3/12(月) 3/24(土) <b>必着</b>	1/9(火) 1/31(水) <b>必着</b>	2/16(金) 3/10(土) <b>必着</b>	3/12(月) 3/25(日) <b>必着</b>	9/1(金) 3/8(木) <b>必着</b>
試験日	2/3(土)・2/4(日)	3/11(日)	3/26(月)	—	—	—	随時
合格発表日	2/12(月)	3/16(金)	3/28(水)	2/12(月)	3/16(金)	3/28(水)	1/15(月)、2/12(月) 3/16(金)、3/28(水)
入試科目等	2科目 ◎1時間目/国語(国語総合) ※近代以降の文章 理科(物理) (化学) (生物) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅰ+ コミュニケーション英語Ⅱ) ◎2時間目/数学		数学および面接 ◎1時間目/数学 ◎2時間目/面接	4科目(工学部)または3科目(総合情報学部) 1. 国語(近代以降の文章) 2. 地理歴史・公民 (世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現代社会、 倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」) 3. 数学①(数Ⅰ、数Ⅰ・数A) 4. 数学②(数Ⅱ、数Ⅱ・数B、情報関係基礎) 5. 理科②(物理、化学、生物、地学) 6. 外国語(英、独、仏、中、韓)[英語はリスニングを含む]			面接(個別) 志望理由書 (出願時提出) ※600字~800字
試験場	本学、佐世保、五島 対馬、那覇、鹿児島 宮崎、大分、熊本 佐賀、福岡、松山 広島、大阪、東京	本学、鹿児島 福岡、広島 大阪、東京	本学	—	—	—	原則として本学
検定料	28,000円			13,000円			30,000円

### ■大学院入試案内

#### 工学研究科 修士課程/博士課程

#### ■附属高校入試案内

平成30年4月入学者(二次募集)		特別入試				一次入試	二次入試
願書受付期間	2/7(水) ▶2/16(金) <b>必着</b>	一般推薦試験 A・B特待	スポーツ推薦試験 一般A・B特待	専願試験 一般	併願試験 一般	一般	一般
学力試験 (修士課程のみ)	2/27(火)	12/14(木)▶1/9(火) <b>必着</b>				1/10(水)▶1/15(月)	3/12(月)▶3/15(木)
面接	2/28(水)	1/11(木)				1/18(木)	3/16(金)
試験場	本学 (詳細は受付後通知)	本校				本校	本校
合格発表	3/6(火) 13:00 大学院掲示板	試験科目 国・英(リスニング有り)・数・集団面接				国・英(リスニング有り)・ 数・集団面接	国・英(リスニング無し)・ 数・個人面接
入学検定料	30,000円	合格発表 1/15(月)				1/22(月)	3/16(金)
		受験料 6,000円				12,000円	12,000円

### 学費サポート制度(特待生制度・優待生制度)

#### 特待生 A1 授業料を全額免除(4年間)

国立大学よりも学費がかりません

#### センター試験利用入試または一般入試(I期・II期)にて選考

対象 学力・人物の優秀な者 ※成績不良等で取り消し有

#### 特待生 A2 授業料1/2免除(4年間)

#### センター試験利用入試または一般入試(I期・II期)にて選考

対象 学力・人物の優秀な者 ※成績不良等で取り消し有

#### 特待生 B 授業料1/2免除(4年間)

#### AO特待生入試にて選考 対象 次のいずれかに該当する者 ※成績不良等で取り消し有

①高度な特技・資格を有し、それを本学で発揮しようとする者  
②各種コンテストやスポーツ・文化活動等で優秀な成績を収め、本学でその能力をさらに伸ばし発揮しようとする者

#### 外国人留学生入試(前期)にて選考

対象 日本留学試験の日本語250/400点程度。数学の成績も合わせて総合的に判定する。  
※成績不良等で取り消し有

#### 在学生の優待制度

3年生または4年生で学力および人格が優れた者に対して授業料を免除します。3年生は2年次までの成績、  
4年生は3年次までの成績が選考対象となります。(3年次で優待生に採用された者も、4年次には再度選考となります)

きわめる。拓く。創り出す。

**NiAS** 長崎総合科学大学

※NiAS(ニアス)は、大学の英文名  
Nagasaki Institute of Applied Scienceの略称です。

長崎総合科学大学「Facebook」&「LINE」! 大学の様々な情報を配信しています。ぜひ、ご登録ください。

<https://www.facebook.com/nias.ac.jp>

@nias

SNSでも情報発信中

本学モバイルサイトに  
アクセスできます。





# CERNの実験に参加してきました

～学び得たことと道中での苦楽～

(大学院 工学研究科 修士課程電子情報学専攻2年 竹内遥祐)

私が所属する大山研究室は、欧州合同原子核研究機構(CERN)\*1で行われているALICE実験\*2という、LHC加速器\*3を使った実験に参加しており、その中でALICE検出器のための測定装置の研究開発\*4を行っています。10/7～31、私と荻野くん(同専攻2年)はALICEの実験施設でデータを取ることと現地での打ち合わせを目的にフランスでのオペレーションに参加してきました。

私は今回初めて実験に参加するので、まずは訓練を受ける必要がありました。事前に、テレビ会議に使われるVidyoを用いて日本でチュートリアルを受講し、現地入りしてから業務について3日間のトレーニングを受けました。

ALICEの実験は様々なプロフェッショナルが協力して行うことでデータ取得と解析を行っており、私が現地で行ったのはECSと呼ばれる仕事でした。ECSは主にRUNの始めと終わりの操作や各検出器の異常を確認して適切な対処を行う仕事です。他にDCS,DQM,SLという仕事があり、基本的には4名で1チームを組み、SLがリーダーとなって指示を出します。それぞれに専用のトレーニングを受ける必要があり、トレーニングに合格した人たちがシフトをローテーションします。

ALICEの実験のシフト期間は6日間です。7:00～15:00、15:00～23:00、23:00～7:00をそれぞれ2日間ずつ行います。最も大変だったのは23:00～7:00のシフトで、一日目は数分ほど寝てしまい、今でも後悔しています。二日目は寝ないために様々な努力を行って必死に起きていました。

失敗はもうひとつあります。トレーニングの初日に実験場所に行くシャトルバスが停まる場所が分からず乗り遅れてしまいました。私は一旦、ネットにつながる宿舎に戻ってgoogle mapで調べ、途中、人に聞きながら歩いて向かいました。初日にもかかわらず1時間も遅れてしまいました。このことも後悔していることです。

また、実際に仕事やトレーニングを行ってみると自分の英語力の低さがはっきりと分かり、相手が言っていることを理解することや自分が言いたいことをきちんと相手に伝えることがまだまだ難しいことを実

感しました。マニュアル等もすべて英語、あるいはフランス語にて書かれており、熟読していないことを注意されたこともありました。

今回の私のもう一つの目的は現地の同じチームの人との意見のすり合わせで、このときの英語での会話は私にとってチャレンジでした。研究所の同じチームの人にアポイントメントをとって、実際に話し合うことがとても難しかったことを覚えています。このときに私の研究で重要なインタフェースの話ができました。そこで送られてくるデータの形や速度が想定していたものと違うことが分かり、この機会のおかげで現在の研究が進んでいます。また、今でもメールで積極的に議論を行っています。この議論も滞り前よりスムーズになっていることが実感できます。この理由も長期滞在していたときにほとんどが単独行動だったこと、必然的に英語でのコミュニケーションを求められたことで自分の英語力の上達と会話に必要なことを学ぶことができたからだだと思います。

これは、実験や会議とは関係ない生活面での話ですが、今回はホテルではなくシェアハウスのようなところで生活しました。このシェアハウスは5人で生活することができ、1人は荻野くんでしたが、他に3人異なる国の人と共同生活を送りました。最初の頃は挨拶を返すことでやっとでしたが、段々と慣れてくると長時間話していても苦痛に感じなくなり、私が滞在していた間だけでもメンバーの入れ替わりが数回あり、初対面でも段々と気楽に会話ができるようになり、楽しく生活を送ることができるようになりました。

これもまた、実験とは関係ないのですが、修士論文の中間発表会にVidyoを使

用して本学で初めて海外から参加することができました。発表の日に海外にいないという偶然はなかなか起こることではないかもしれませんが、もし誰かが海外に行っても参加することができるということが証明できたと思うと有意義でした。また、この出張と同時に中間発表会に参加できたことを嬉しく思います。

最後に今回で外国に滞在することは2回目ですが私はまだまだ慣れないことが多く、初めてのことも多かったため失敗もありました。また、前回の滞在は大山先生と一緒にいたのですが自分でなんとかしなければならぬことが今回は特に多く、その分多くのことを学ぶことができたと思っています。私がこのALICEに参加していなかったらこのような体験もできなかっただろうということや、英語でのコミュニケーションが楽しく感じることはなかったと思います。CERNに送り出してくれた大山先生にとっても感謝しています。

## 《学長から一言》

本学のアクティブラーニングは小規模少人数教育ならではの学術的に本格的で、かつ出来る限り国際性に富んだことを心掛けています。一人ひとりの興味と能力に合ったテーマと機会を与えて自らが苦勞し、経験して進歩を実感してもらえ、オンリーワン、ナンバーワンの研究者である教官たちが企画しています。学生も先生も一人ひとりの顔が見える大学、それが我々の誇りです。



竹内遥祐さん

荻野雅紀さん



写真提供 CERN

# ALICE

## A Large Ion Collider Experiment



写真提供 CERN



写真提供 CERN

\*1 スイス・ジュネーブ郊外に位置する世界最大最先端の素粒子・原子核物理学研究所。

\*2 ALICE: A Large Ion Collider Experiment 大型イオン(原子核)衝突実験。

\*3 宇宙誕生の瞬間に近い状態を実験室レベルでの再現に成功。世界30か国以上から約1,200人の研究者が参加し、未知の素粒子や物理現象など宇宙創成のシナリオ解明に挑む。

\*4 スイスからフランス国境に跨る周長27kmの大型原子核衝突型加速器。高いエネルギーでの衝突実験が可能な世界最新鋭の粒子加速器。

\*5 この実験は膨大なデータを大変な時間とコストをかけて処理している。大山研究室では効率的かつ高速化を目指し、従来と異なるデータ処理の方法やシステムの研究・開発を行っている。





## 今年も開催!小学生対象 「夏休みおもしろ船教室」

船舶工学コースが8月25日に「夏休みおもしろ船教室」を開催し、大村市と東長崎地区の学童クラブから47名が参加しました。学生14名のサポートのもと、海上と陸上のイベントを実施。大学近くの橘湾で子ども達全員がプレジャーボートを操船(運転)体験し、その

スピード感や波しぶきに歓声を上げていました。陸上のイベントでは、溶接や塗装のシミュレータ体験のほかに、ペットボトルを使った風力発電機づくりを開催。「夏休みの作品が出来たね。」という声も聞こえてきました。このイベントは、次世代の海事産業の発展と海洋文化を担う子供たちの育成を目的に、海洋教育普及推進活動の一環として、(社)日本船舶海洋工学会の支援を受けて、毎年実施しています。



## 「UNE語学・異文化研修プログラム」に行ってきました!

8月19日~9月11日、9名の学生がオーストラリアのニューイングランド大学で語学・異文化研修プログラムに参加。一般家庭にホームステイし、生の英語と異文化に触れました。グローバル人材の育成を目的として設立された「小辻梅子海外留学支援金」より研修費の助成を受け2015年より毎年実施しています。



## 「学生×OB・OG」しごとのカタリ場

12月20日、全国のお社より卒業生40名を招き、学生と輪になって「しごと」を「カタリ」ました。仕事に関する理解、また、働くとは? など、学生が自らの将来を展望し今後の大学生活に生かすことが目的。学生は約470名が参加し、熱気ある「カタリ場」が学内20か所で繰り広げられました。



## 海中ロボットを操作して 海の生き物を調査しよう!

10月7日に長崎ペンギン水族館で、小・中学生向け「海中ロボット」の体験型イベントを開催し、小学生から大人まで約50名が参加しました。午前の部は、佐藤雅紀准教授(九州工業大学特別教授/東京大学名誉教授)の講演で、水中ロボットで五島沖海底200メートルに沈む旧日本海軍潜水艦24隻を撮影し艦の名前を特定していく過程を小学生にも分かり易く解説して頂きました。午後は、ペンギン水族館の「長崎の海水槽」で海中ロボット操作体験を行いました。実際に大きな魚が泳ぐ水槽では、魚がケーブルをかじってロボットを壊すというハプニングも。一人10分程度でしたが、操作を体験した参加者からは、「とても楽しかった」、「時間があつと言っ間だった」などの感想が聞かれました。



浦環教授(九州工業大学)

## 参加した柳瀬賢太郎さん (総合情報学部総合情報学科知能情報コース3年)

「本当の知識は体験から生まれる」との思いで参加しました。日本とはまるで違う広大で自然が豊かな町で3週間過ごしました。日本ではまず経験出来ない「体験」の連続で、日々驚きと興奮の毎日でした。現地の大学では英語漬けでついつい面もありましたが、先生方も優しく教えてくださり楽しく英語を学ぶことができました。これからの社会は更にグローバル化するだろうと思います。今回の「体験」で学んだことを生かして今後に役立てたいと思います。

# ともに 学ぶ・つくる・競う 面白い! は学びのはじまり

## ものづくり建築体験

8月11日に本学建築学コースで「ものづくり建築体験」を開催。110名の小中学生・保護者が「建築アンバサダー」と一緒に挑戦しました。「建築アンバサダー」とは建築の楽しさを子どもたちに伝えようと結成した大学生・附属高校生の混合チーム。企画から当日の運営まで、何か月もかけて取り組みました。「ものづくり建築体験」は、三次元CADで住宅を作って名刺にする「CGコース」、プロが使う素材で作る「建築模型コース」、セメン



トと水を練ってオブジェを作る「コンクリートコース」、アロマの香りでインテリアデザインをする「香りコース」、小学生低学年向けに紙で作る「かみ模型コース」の5コース。子ども達から「ねとねとして大変(コンクリートコース)」、「頭の中のイメージが形にできて面白い(CGコース)」、「とっても面白い」などの声が聞かれ、建築アンバサダーの企画は大成功を収めました。

## 高校生と電気自動車の分解・組み立て・試乗『ものづくり』交流会 コンテスト本番で準優勝!

県内の高校生と機械工学コースの学生が8月18日に本学で『ものづくり』交流会を開催。これは11月19日の『第4回スマコマながさき小型モビリティコンテスト』のイベントとして同実行委員会が主催したもので、EV(実際に公道を走行可能な電気自動車)の分解・組み立て作業を行いました。高校生たちは本戦で競う自分たちのモビリティに反映させようと熱心に取り組み、「実際の車のブレーキのしくみがよくわかった」などと目を輝かせていました。また、コンテスト本番で本学チームは準優勝に輝きました。



## トマトロボット競技会 フリースタイル部門優勝、大学、附属高校の両チームが3位

12月8日~10日に北九州市で開催された「トマトロボット競技会」に、本学のNiASプロジェクトのチームが参加し、フリースタイル部門で優勝、総合3位、附属高校チームも初出場にして第3位に輝きました。大学チームは予選直前に基板から白煙発生というトラブルを乗り越え、4年連続決勝リーグに進みました。毎年少しずつ競技会のレベルが上がっており、次年度は、ロボット自身が考える自律型のロボットへの切り替えを考えております。ジュニア部門に初めて出場した附属高校のロボコン部(NiAScience)は、第3位入賞を喜び反面、優勝も狙えたので悔しさも残ったようです。学生たちは、早くも来年度の上位入賞を目指して研究意欲を高めています。



## おめでとう!サッカー部、九州リーグ1部に昇格!

九州大学サッカー2部リーグで奮闘する本学サッカー部の1部昇格をかけた日本経済大学との最終戦が、11月25日に大宰府梅林アスレチックスポーツ公園で行われました。結果は本学が2-1で勝利。同リーグ2位で創部以来初の1部昇格を果たしました。来年は1部リーグでの上位入賞を目指します。

主将:マネジメント工学コース4年 小橋川政一郎 監督:八戸寿恵



## 8 Courses Topics

### 工学部工学科 船舶工学コース

10月7日(土)に4年生の卒業研究中間発表会ならびに工場実習&インターンシップの報告会を開催しました。卒業研究中間発表会では、4年生が各研究室から、この半年間、卒業研究に取り組んだ成果を報告しました。このまま無事に卒業研究を進めて欲しいと願っています。また工場実習&インターンシップの報告会では、2~4年生が夏休み期間中に各地の造船所などで行った、1週間程度の実習内容や体験に関して報告を行いました。



### 工学部工学科 建築学コース

9月4日から13日まで海外研修旅行に行ってきました。学生自らが計画を練り、無事に体験することができました。イタリアの首都ローマからヴェネツィア・ミラノを経由し、パリ・世界遺産モン・サン・ミッシェルに触れる豊富な内容の研修でした。写真は、世界最大級のゴシック建築「ミラノ大聖堂」です。天に昇るような重厚な建築を体験することができました。テーマであった都市と建築について思索を巡らすとても良い経験になりました。



### 工学部工学科 医療工学コース

4年生は、国家試験を受験する学生は病院での「臨床実習」に向け、血液検査等の準備を行い8月から10月にかけて関連病院での実習を行いました。また、企業への就職を目指す学生は、卒業研究と就職活動を平行して行い希望する企業を目指し採用試験を受けています。病院の就職に関しては一般企業よりも求人が遅くなることや、個人の学力を踏まえて、臨床実習以後に医療施設を選んで就職活動を行っています。



### 総合情報学部総合情報学科 マネジメント工学コース

本学の語学・異文化研修プログラム(オーストラリア)への参加をきっかけに、シンガポールのNYUランゲージスクールに1年間留学していた吉村保亮さん(4年)が、8月に戻ってきました。他の国の人との交流の中で、視野も広がったようです。また、日本のお米の評判が良かったそうで、将来は出身地の佐賀のお米を外国に輸出したい、と夢を語ってくれました。



### 工学部工学科 機械工学コース

造大祭で、メカライフの世界展「アナログとデジタル機械模型の展示と製作体験」のイベントを実施しました。その趣旨は、若年層の自動車や船舶等従来型ものづくり産業への興味の希薄化が進む中、ものづくり体験により工学系大学への進学を促進させることです。ペーパークラフト、プラモデル、レゴのEV3で、組み立てと操作を体験してもらいました。多くの参加された皆様に興味をもってもらうことができました。



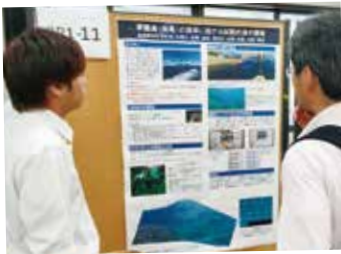
### 工学部工学科 電気電子工学コース

高大連携の取り組みの一環として、大学院生・大学生によるものづくりの技術指導を行っています。8月21~22日に、長崎工業高校の2年生を対象として、ドローンの製作・運転体験を実施しました。この取り組みでは、学生が主体となって部品の選定から購入まで行い、さらに技術指導の要領を考案しています。構造の説明、製作、制御および操縦技術まで多岐に渡った指導を通して、技術だけでなく学生生活も伝えています。



### 総合情報学部総合情報学科 知能情報コース

8月31日、9月1日に熊本大学で開催された第34回センシングフォーラム計測部門大会において、本コースの4年生が「軍艦島(端島)の護岸に関する試験的海中調査」という題目で研究成果を発表しました。軍艦島の護岸を海中ロボットで撮影し、護岸を広く見るための画像処理についての研究です。また、開発した海中ロボットを使った操縦体験イベントを長崎ペンギン水族館で開催し、多くの小中学生に楽しんでもらいました。



### 総合情報学部総合情報学科 生命環境工学コース

10年以上続いている大中尾棚田(長崎市外海地区)での活動を今年も実施しました。春に植えた苗は大きく育ち、10月1日に刈り取りました。昔ながらの掛け干しには、学生の力も役立ちます。月末の火祭りはあいにくの雨でしたが、学生が参加してイベントを手伝いました。9月に波佐見町で開かれた全国棚田サミットでは、大学のこれまでの取り組みを紹介してきましたが、合唱団や陶器、血踊りなど、波佐見の魅力に驚きました。大中尾棚田でも大学発の新たな魅力を作っていきたいです。



# 話・題・人

## Close up People

### おりがみ博士が教える「折り紙教室」開催中!

表紙に登場の木場愛明さん(総合情報学部総合情報学科マネジメント工学コース4年)は幼い頃に病気で入院したことをきっかけに折り紙を始めました。14歳のときには日本折紙協会の「こどもおりがみ博士」に認定され、現在は「折紙講師」として活躍。自宅で折り紙教室を主宰し、県内各地で出張教室も開催しています。

「子ども達(生徒さん)が分からない所が分かった時や、私や周りの人達・ご家族とコミュニケーションをとりながら完成させた時など、その達成感にぱっと明るい笑顔を見せてくれる瞬間があります。その輝く表情を見ると、そしてそれが子ども達一人一人の自信にも繋がっているということにやりがいを感じます。また、教室では、子どもならではの発想もあるので私自身も子どもたちから教わっているという感じです。」と話します。

現在4年生の木場さんは、大学卒業後も折り紙教室を続ける予定です。

### 「折り紙ピースプロジェクト」の取り組み

長崎に生まれ育ち、平和への願いをいつも身近に感じていた木場さん。折り紙を通じて何かできないかと思いついたのが「折り紙ピースプロジェクト」です。折り紙教室に来た子ども達に平和への願いを込めて「折り鶴」を折ってもらい、それを毎年『長崎原爆の日』にあわせて平和記念像に捧げようという取り組みです。木場さんは言います。「子ども達

が私の教室で『鶴』を折るとき、そして、

8月9日の平和祈念式典をテレビなどで目にして自分が折った『鶴』がそこにあると感じるとき、平和について深く考えてくれるはず。また、ご家族や友達と平和について語り合うきっかけになってくれたら嬉しいです。」

木場さんが幼いころから折り続ける小さな紙の世界は子ども達の未来につながっています。

総合情報学部総合情報学科マネジメント工学コース4年  
(長崎南山高校卒業)

木場 愛明さん Yoshihiro Koba





## 東長崎エコタウン構想推進 ～ゼロエミッションの推進を目指して～

9月19日に「東長崎エコタウン構想推進：ゼロエミッションの推進を目指して」と題した講演会を開催し、地域住民や企業・自治体関係者、学生・教職員を含め74名が参加しました。

東長崎エコタウン協議会では、東部下水処理場からの完全リサイクルを目指して取組んできましたが、下水汚泥のメタン発酵残渣の2次肥料化に成功し、「大地のめざめ1号」という名称で肥料登録しました。

基調講演では大場教授が研究概要を説明の後、薄田篤生客員研究員(三



薄田篤生客員研究員

下高敏彰研究員

松岡和彦准教授

**故 大場和彦教授**  
総合情報学部生命環境工学コース 大場和彦教授(学部長)が1月1日にご逝去されました。大場教授は平成20年から本学で教鞭を執られ本学の教育・研究に多大なご尽力を賜りました。ここにご生前のご功績を偲び謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

菱長崎機工(株)が実証研究の状況や、脱水後の廃液(返流水)の浄化と有効利用技術などを紹介。廃液は独自の技術により液体肥料として活用が可能。しかも液肥は固形より土壌への散布が手軽とあって、実用化への期待を集めています。

また、特別講演では松岡和彦准教授が海洋産業で活躍する人材育成、開発した海中ロボットの紹介や産業への応用、網場湾における藻場の海中撮影報告など、本学で行っている取り組みを紹介しました。

### 土づくり講習会

長崎市との共催で「土づくり講習会」を10月15日に開催。約80名の市民が参加しました。

新技術創成研究所の薄田篤生研究員と下高敏彰研究員が講師を務め、新肥料「大地のめざめ1号」の活用について講習会を行いました。

前半は、薄田篤生研究員が講義し、土壌中の変化や発酵などのメカニズムを解説。後半は下高敏彰研究員と玖須理博(大学院修士課程2年)さんが肥料を使って家庭で簡単に出来るボカシ堆肥の作り方を実演しました。

参加者からは実際の農作物への効果や使用方法など熱心な質問が多く寄せられ、実証成果に高い関心を寄せている様子でした。

この研究は、本学と長崎市、三菱長崎機工(株)が共同で実施しており、地域のゼロエミッションの観点から東部下水道処理場で発生した下水汚泥由来資材の農地への利活用を目的に農作物への実証研究を行っています。



## 公開講演会

### 「21世紀の科学技術」 ～生命と環境～

11月5日、大学院新技術創成研究所公開講演会「21世紀の科学技術」(生命と環境)を平安閣サンブリエール(長崎市元船町)で開催しました。

長崎の地で先端科学や技術の最前線に関する理論や動向に触れる機会を提供することを目的とした講演会も今回で15回を数え、長崎県内の高校生や一般市民など160名が熱心に聴講しました。

齋藤博英氏(京都大学 iPS細胞研究所教授)が基調講演では、iPS細胞の「可能性、現状、そして今後の期待」について講演頂きました。iPS細胞の利用法の一つとして医療分野で行われている再生医療の研究や iPS細胞研究所で研究者が今取り組んでいる挑戦など、最新の研究を紹介。また、齋藤博英先生が今の研究に携わるようになった経緯のお



京都大学 iPS細胞研究所 教授 齋藤博英氏

中道隆広講師

清山浩司准教授

### 都市の記憶 —長崎の歴史と平和を考える



新木武志氏

奥野正太郎氏

11月4日、長崎平和文化研究所附属図書館がシンポジウム「都市の記憶—長崎の歴史と平和を考える」を本学で開催。小川虎彦氏(写真展同時開催)ご息女の宮原良幾さん、小川都さん、研究者や被爆者の方など約90名の市民が参加しました。

シンポジウムは、長崎の戦後史を残す会事務局代表の新木武志氏、長崎原爆資料館学芸員の奥野正太郎氏、ブライアン・パークカフ二教授(附属図書館長)、李桓准教授(建築学コース)が講演。海外に発信された戦前の長崎の記憶史料、都市構造をよすがとする記憶として長崎の都市化と浦上の変容、戦後復興計画における長崎の定義範囲と平和意識の歴史、外部記憶装置である被爆の遺産と現状について、熱く語りました。参加者を変えた討論会は、歴史、復興、継承の三点に集約され、その結果、被爆建造物「県庁第三別館」保存の必要性が浮き上がりました。

被爆の歴史を語るとき、「個人」の体験を伝える被爆者の減少につれて、「都市」に埋め込まれた記憶の意識的継承という新しい視点を投じる催しとなりました。

また、造大祭(11月3・4日)の期間中、被爆当時の長崎の写真五六枚を展示した「小川虎彦写真展」と2017年度長崎総合科学大学附属高校生の核・平和に関する意識調査集計結果」を公開しました。



### 就活情報紙 「NR」創刊

長崎新聞社が県内の大学や企業、就職活動に関する月刊情報紙「NR(エヌアール)」を昨年9月1日に創刊しました。毎月初めに、県内の情報紙では最大部数となる23万2千部を発行。県内の大学や企業の魅力を積極的に発信することで、未来の長崎を担う若者を増やすことがねらい。新聞に折り込むほか大学や高校などで学生にも配布しています。

本学と長崎新聞社は「包括的連携協力に関する協定」を締結しており、その協定に基づいて紙面の作成に協力しています。12月号は本学学生サークル「softy」が「キャンパス通信」を担当しました。



# History and Peace of NAGASAKI



### 全国水中ロボットコンテスト3位

8月25日～27日に横須賀で開催された水中ロボットコンベンション(ジュニア部門)に、3年生の吉田匡希君(左)と里和樹君が出演し、見事第3位となりました。また、ニッスイ特別賞も受賞しました。1回戦では、本学と緑のある愛知県立三谷水産高校と対戦し、一試合での最多得点で勝利。次の準決勝では昨年度の準優勝チームと対戦し、延長戦となりましたが惜しくも敗れて第3位。しかし、最多得点が評価され「ニッスイ特別賞」を受賞しました。



### トマトロボット競技会第3位

12月9日～10日に北九州で開催されたトマトロボット競技会(トマト採取)に、1年生の河出天君(中央)と向井楓真君(右)が出演し、見事第3位となりました。今後の活躍が楽しみです。



### 長崎地区新人戦3位、 春高バレー予選長崎県大会ベスト8

既に新チームで、次の大会へ向けて、猛練習中です。



### 体育祭&文化祭

9月10日に体育祭、10月13日に文化祭を実施しました。体育祭では、一番の目玉の3年生によるパフォーマンス合戦「総附de soul」のほか、人気種目の「総高一の力持ち」や、新プログラムの借り物競走、ペンギンレース、リフティング王など、多彩なプログラムで盛り上がりました。また、これまで最多の700人を越える保護者の方々、近隣の自治会の方々に参観いただきました。文化祭で

は、「総附 be ambitious」をテーマに、開会式にて機長に扮した生徒会長の松浦勢太君の挨拶に始まり、各種ステージでの出し物をはじめ、クラス単位の出し物、似顔絵コンテスト、1年生全員で作成したモザイクアート、牛丼や五島うどんのパザーなど、普段は見られない多彩な生徒の才能を披露しました。



### 第96回全国高等学校サッカー選手権 全国大会ベスト8進出!!

サッカー部が第96回全国高等学校サッカー選手権大会に、2年連続5度目の出場を果たしました。1回戦愛知県代表中京大中京高校に3-2、2回戦山口県代表高川学園高校に2-1、3回戦昨年度優勝の青森山田高校に1-0で勝利し、本校初、長崎県勢13年ぶりのベスト8進出を果たしました。準々決勝は流通経済大柏高校と対戦し、惜しくも0-3で敗れましたが、多くの方々の応援のお陰で、全国の舞台上で大活躍することができました。また、新チームは次の目標に向けてすでにスタートしています。引き続きのご声援をよろしくお願いいたします。



《今年度の成績》  
◎平成29年度全九州高等体育大会(全九州高等学校サッカー競技)、インターハイ2年連続出場。インターハイベスト8。  
◎高円宮杯U-18サッカーリーグ2017プリンスリーグ九州 準優勝。  
◎第96回全国高等学校サッカー選手権ベスト8。

### 秋の九州高校野球長崎県大会でベスト8進出

優勝した創成館高校に敗れましたが着実に力をつけ、来年こそは念願の甲子園出場が期待されます。



### 朝日・NCC球育賞を 増永幸生総監督が受賞

朝日・NCC球育賞に本学附属高校野球部の増永幸生総監督が選ばれ、7月7日、長崎市の県営野球場で表彰されました。増永総監督は96年から現在まで20年以上にわたり、附属高校野球部の選手を指導。「指導者の役割は全ての選手が社会貢献できるような人材に育成すること」として厳しくも温かい指導を続けられています。



増永幸生  
総監督

渡瀬尚  
監督